

II 8

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

Invidious 隠微な.

宗教の地帯に於ける者

宗教の隠微な攻撃の普遍

と云ふのは真理を美しと仰
中蔵籍にあり。正當知・主地

宗教の隠微な主張するは

心を肯定して後に起る由

の起る。主地

おの宗教はその持つ前

の区域に在るは

ら、と強に主張する

の起る。

この宗教的特徴への

範圍を示すのは並道に非

人が教会は政治と商業に
 甘んじ出さずと云ふ意見
 甚大なり小あり皆持つてゐた。
 教会は畢竟ある宗教の指導に
 其念す可き世俗の日常
 事に於ては是る事に依つて
 聖書を以てす可からずと實
 を言せられたる事宗教が
 世間の長物なり利益を
 算計するの如きは其分
 其後を世間へ入るといふ事
 あり、
 人心が腐敗を招く事
 有世間の洗滌の必要あり

Dire plight 塔の崩壊 ^悲 debacle 崩壊

漠然たる ^輪 輪部 ^部 部を ^却 却想 ^心 心の
 雲の中に 擲んだ。即ち同時
 に、世人は自由になれぬの苦悶
 の現実を過る ^即 即中 ^有 有る
 やうにあらたか、 ^吾 吾と ^是 是れは ^即 即想 ^心 心の
 塔の考へたより ^更 更 ^甚 甚く ^世 世 ^界 界 ^人 人の
 道とは ^餘 餘程 ^異 異 ^な な ^道 道 ^と 也
 と ^な な ^ら ら ^な な ^ら った。

其の計画の結果は現在

吾々の前に 是れ ^は 是 ^れ 是 ^る 有る。

吾々の新教と ^改 改 ^正 正 ^主 主 ^義 義 ^経 経

諸は ^同 同 ^じ じ ^の の ^塔 塔 ^を を ^崩 崩 ^壊 壊 ^心 心を

洒 ^ら ら ^せ せ ^る 有る。 ^即 即 ^ち ち ^是 是 ^れ 是 ^る 有る。

Superannuated 259 Irrelevant 400 100

山崩潰の源を辿ると矢張り
 同い理由である、即ち宗教は
 社会の俗多が超越する
 べきものだとの主張 王國執事
 ある、
 吾は能力と強制と腕力
 と精神の世界に在るべき
 吾々は動的世界の法則に
 人等は活躍し、そこには
 伴の起る、若し宗教が
 世界の執事と腕力の中の
 一執力を あり 在るべきは
 偉力中の偉力であるか

Superannuated 老朽の Irrelevant 無関係の

若し、又もし宗教が人を
 動かす所の或る源動力を
 供給し得たこととしたら
 若し宗教それ自身も亦世
 界に^に変を起し得たかの
 事あるならば、それは簡単に
 否定の材料となる。
 若し^二宗教が^一世を動かす
 事あるならばやう
 否、否、否、否、否、否、
 否、否、否、否、否、否、
 の中にはあせとおけばあ